



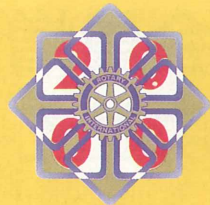
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2760

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER 1999-2000

国際ロータリー第2760地区 ガバナー 野村 重彦

事務所/〒448-0843 愛知県刈谷市新栄町3-26 (刈谷商工会議所内) TEL/0566-29-3551 FAX/0566-29-3552



ROTARY 2000: ACT WITH
CONSISTENCY CREDIBILITY
CONTINUITY

ロータリー2000:

活動は堅実、
信望、持続

1999.7.20

No.2

会員増強・拡大月間

- ガバナー挨拶…①
- 会員増強委員会委員長挨拶・拡大委員会委員長挨拶…②
- 国際ロータリー年次大会報告…③
- 地区協議会本会議報告…④
- 分科会報告…⑤
- 委員会からのお知らせ (インターアクトクラブ) …⑨
- フォーカス2760 (分区グラフ) …⑩
- ハロー分区 (分区ニュース) …⑫
- にんげんWATCHING (会員登場) …⑭



本誌は、環境保護のため再生紙を使用しております。

津島天王まつり (津島)

会員増強・拡大月間によせて

1999～2000年度 国際ロータリー第2760地区

ガバナー **野村 重彦**



会長、幹事並びに会員の皆様、私達のロータリー年度がスタートして、凡そ3週間が経過しました。

楽しいクラブライフ、活力あるクラブ活動を満喫して居られますか。

マンスリーレター第1号でもお願いしましたが、年度のスタートする7月は『識字率の向上月間』であります。

文字が読める、書ける、は多くの日本人にとって当たり前のことですが、地球全体から見ると当たり前でなく、それに伴う多くの悲劇を引き起こしています。ユネスコ世界寺子屋運動に協賛して、募金、書き損じハガキの回収にお力を貸して下さい。この月に止まらず、一年を通しハガキの回収にご協力戴き、年賀ハガキを含め来年2月頃迄に、回収を終わる様にしたいと思います。

8月は、会員増強と拡大の月間です

一世紀になんなんとするロータリーの成功体験の中で生じた疲労、倦怠とも云える多くの問題の中で、全世界的な会員の減少、及び高齢化、例会出席率の低下などがあります。これは、ロータリーに限らず、他の奉仕団体にも見られる現象であり、他の団体に比して、その影響は少ないとは申せ、1997～98年度初めて会員数の純減を経験しました。クラブが発展し、活力ある奉仕活動が続けるために新しい血液、優れた人材の確保が重要であります。

クラブの量の拡大については、量が質を高め、質が量を高める。相互が協力し合って、増強・拡大に努めたいと思います。

PETS、地区協の場にもお願いしましたが、今年度会員の増強は前年比2%増、クラブの拡大・増設には、その機運のある地区に於いては、是非とも積極的な取り組みを戴き、新クラブの誕生に力強いご尽力をお願い致します。

委員長挨拶

会員増強・拡大月間によせて



会員増強委員会委員長

小川 辰男

8月はRIが定めた「会員増強月間」ですが、「会員増強活動」は、8月だけで終わらない年間通しの最重要課題となりました。

1997年末－1998年末対比で、世界のロータリアンは1,193,376人から1,188,816人へ4,560人減少しました。

アジア各国で不況による退会者が増えたばかりか、日本も1998年3月－1999年3月対比で、129,032名から125,495名へと3,537名も減りました。

わが2760地区は、5月15日現在で昨年同期と比べ、会員増加クラブ35・現状維持12・減少クラブ29となり、6,282名の0.5%32名増に止まる足踏み状態でした。

さて今年度の野村ガバナーは、ガバナー方針の中で、クラブ拡大と積極的な会員増強をロータリークラブ活性化の不可欠な柱として位置づけられています。

よく囁かれる「不景気ゆえ増強は困難だ……」の言い訳や迷い?はさりと捨てたいものです。94年前、経済恐慌で人心が荒れずさんだアメリカ社会であつたればこそ、心から触れ合える真の友情を求めたハリスら4人が集まり、ロータリークラブを誕生させました。

似たような経済的苦境の昨今であるがゆえに、一層卒直な友情と連帯を欲している、実業家や専門的職業人が身近な所に、女性や若い人の中にもいるでしょう。会員が自らの胸にロータリーの原点をよみがえらせて新しい友人探しに努める「会員増強」は、会長や委員長まかせの仕事でなく、全員の総力を挙げる課題でなければなりません。

会員増強・拡大月間によせて



拡大委員会委員長

加藤 正男

地区協議会の席上、野村ガバナーは「語り合おう。そして見つめ直そうロータリーのロマンを!」～新しい地区の礎を築くために～を発表されました。更に野村ガバナーは具体的な方針説明第4項目として次の様に述べておられます。

「1990年代より始まった既存クラブの会員減少、例会出席率の低下は、これ迄新クラブの拡大によって補われていたが、1998年、国際的には初めて会員数の減少を経験致しました。強固で更に活気のある組織への立ち直りを目指し、会員増強、退会防止、新クラブの拡大に努めたいと考えます。」

1925年に名古屋ロータリークラブが誕生し、2000年には75周年の輝かしい節目をお迎えになります。爾来当地区内には75の新クラブが発足。それぞれすばらしい歴史のページを刻んでこられました。来年はいよいよ人類の新時代の幕開けとなります。新しいクラブの拡大はまことに意義深いものと確信しております。

統計的データ、例えば日本のロータリアンズは、人数としてR.I.の10%、然しクラブ数では8%。1クラブ会員数は、日本60名・世界45名等々日本では大型化傾向がみられます。

新しいクラブのチャーターナイトは実にエキサイティング・モーメント!です。拡大委員会は、ロータリー活動活性化のため各クラブ会員各位のご理解とお力添えにより新しいクラブが生まれることを切に願っています。

第90回シンガポール 国際ロータリー年次大会に参加して



稲沢ロータリークラブ 林 恵

私は余り国際ロータリー年次大会に参加したことは無く過去にはバーミンガムの大会に出席した位ですが、今度シンガポールで大会が開催されることを知り、シンガポールなら是非出席しようと思いました。シンガポールは未だ訪れた事も無く、又シンガポールと聞いて昔のことがありありと思い出されました。

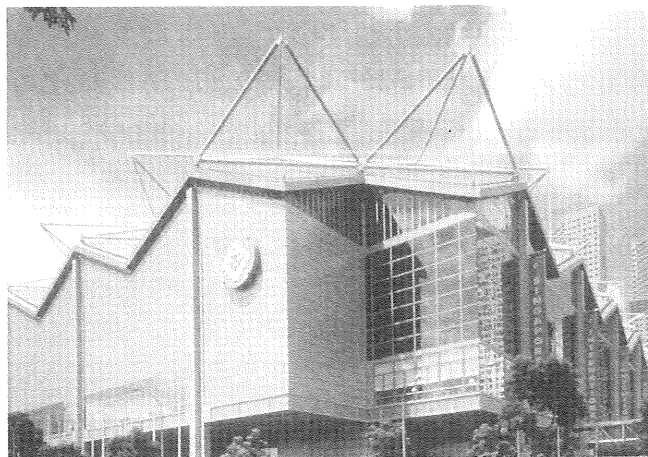
JTBのツアーで6月12日(土)10:20(シンガポールでは9:20)名古屋空港を発ち15:45シンガポールに着きました。

翌13日夕方シンガポールの下町のシンガポール・インターナショナル・コンベンション&エキシビジョン・センター(SICEC)の開会式に参加。参加者は122カ国から15,000名以上が参加し開会式は2回に分けて行われました。

開会式に於いてレイシー会長は歓迎の辞を述べ、特に都市的雰囲気と異国情緒の自然や野生動物がミックスしたダイナミックで美しいシンガポールの街を探索するようすすめられ、最後に「ロータリーの夢を追いかける」決意を新たにしよう強調されました。

翌日はシンガポールの観光に出掛けました。私は今までシンガポールは近代的高層ビルが林立する都市とばかり思っていたが、シンガポールのあるシンガポール島

は淡路島位の大きさでその中に近代的都市があり、その他は林野やゴルフ場でその大きさに驚いた。都市部も郊外の地域も噂に聞いた通り非常に整然としており塵を探すのに一苦労する始末であった。シンガポール島には田畑はなく米や野菜はすべて隣のマレーシアから輸入されている由、これも驚きの一つであった。帰りの飛行機はシンガポールを夜の1:15(日本では2:15)に発ち名古屋へは朝の8:35に着く便であったが、機中ではあまり眠る事が出来ず、本当にくたびれたというのが実感であります。いづれにせよ今回のシンガポールの大会は3泊5日という強行軍であったが、シンガポール及び対岸のジョホール・バルを訪れる事が出来た事を感謝しております。



会場SICEC

2001～2002年度 ガバナー・ノミネー候補者の推薦について

国際ロータリー第2760地区指名委員会は各クラブに対し、次の通り2001～2002年度(福田年度の翌年度)ガバナー・ノミネー候補者指名案の提出を要請致します。

提案は、候補者推薦クラブの例会で選択され、クラブ幹事によって正式に証明された決議という形式で提出して下さい。

詳細は、R.I. 細則第13条第2節をご参照ください。

●1999～2000年度 地区指名委員会メンバー

委員長/石川 和昌(PDG) 委員/蜂谷 弘道(PDG)
副委員長/松本 宏() 委員/宮地 信尚()
委員/内藤 明人()

●送付先/〒448-0843 刈谷市新栄町3-26 刈谷商工会議所内
国際ロータリー第2760地区 ガバナー 野村 重彦

●締切り/1999年9月3日 必着

1999～2000年度のための国際ロータリー 第2760地区 地区協議会

本会議

日時 平成11年5月8日(土)

場所 名古屋国際会議場

地区内76クラブの次期会長、幹事、各委員会委員長、新会員・一般会員ら1,700名余のロータリアンの参加のもと会議が開催された。先ず、内藤次期地区幹事らによる特別出席者、出席クラブの紹介、内藤ガバナーによる点鐘、黙想などに続いてホストクラブの松本名古屋中RC会長が歓迎の挨拶を行った。続いて内藤ガバナーから「協議会は次年度の各クラブの役員の皆さんが一年間のロータリー活動を研修、確認する地区最大の事業であり、大いに実りある会議となることを期待している」と次年度への期待を述べた。

野村ガバナーノミニより次期「ガバナー方針」について説明があり、カルロ・ラビッツァRI次年度会長の国際ロータリーのテーマ「ロータリー2000：活動は一堅実、信望、持続」の概要を紹介、さらに次年度ガバナー方針として「語りあおう。そして見つめ直そう ロータリーのロマンを！」～新しい世紀の礎を築くために～を、地区テーマとして①地域活動の見直しを②新世代に指針を③環境保全に貢献を④クラブの拡大及び増強について～の四項目にわたる具体的な方針を提案



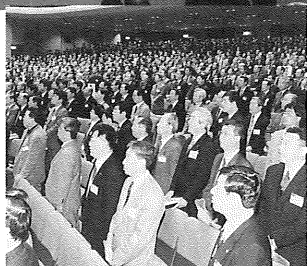
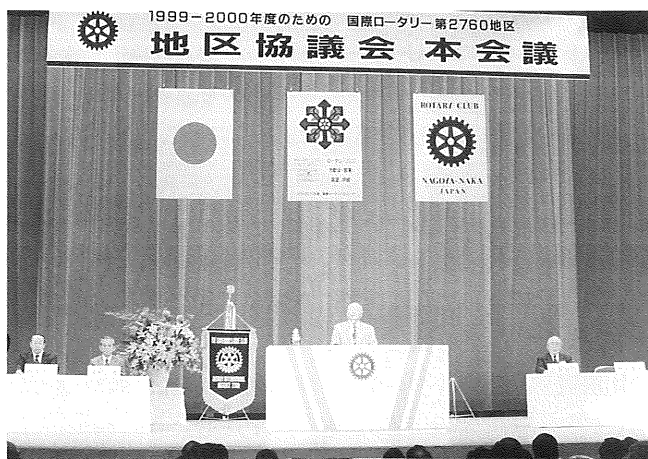
するとともに、次年度の「地区ガバナー賞」を社会的弱者とされている人々への具体的な奉仕を対象とすることを表明。さらに従来の「分区代理」を次年度から「ガバナー補佐」と改称し、役目を分担して貰うことで効率的な運営を図ること、従来の「青少年委員会」を「新世代委員会」とすることなど一部組織変更を行うとともに、GSE(研究グループ交換)事業の実施、1999～2000年度の地区大会を犬山RCをホストクラブとして開催することも述べた。

午後からは9分科会を開催、各クラブの次期会長・幹事・各委員会委員長らがそれぞれの分野で熱のこもった討議を行った。

分科会の終了後、本会議を再開。内藤ガバナーから野村ガバナーノミニへガバナーズエンブレムを、岩間地区幹事から内藤次期地区幹事へ地区幹事バッジを、名古屋西RCから刈谷RCへガバナーズフラッグの授受など引き継ぎのセレモニーが行われた。

この後、ガバナーノミニは次回協議会のホストクラブを西春日井RCと発表。梅田西春日井RC次期会長が「来年5月に開催予定だが、協議会の重要性を理解して、精一杯の努力をするのでご協力をお願いします」と決意を述べた。

最後に、出席者全員が手を堅くつないでロータリーソング「手に手をつないで」を斉唱、盛会裡に協議会を閉会した。



※平成11年5月現在の呼称で記載

分科会報告

第1分科会 〈会長・幹事部会〉

リーダー	ガバナー 内藤 明人
アドバイザー	ガバナー・ノミニー 野村 重彦
アドバイザー	次期ガバナー・ノミニー 福田 清成
アシスタントリーダー	地区幹事 岩間 俊夫
アシスタントリーダー	次期地区幹事 内藤 耕造
アシスタントリーダー	次期地区監事 市川 裕士
アシスタントリーダー	次期地区資金委員長 内田 栄一
担当次期地区スタッフ	近藤 宗義



野村アドバイザー 地区便覧がマニュアルとなるので熟読いただきたい。今日は下記についてお願いをします。①地区リーダーシッププランを継続して行う。②会員増強拡大は40才以下や女性会員の入会に配慮下さい。③ロータリー財団、米山関係へのご協力を④GSEは、米国オハイオ州第6600地区からの受け入れを来年3月末に実施。⑤2001年度規定審議会が開かれ、立法案を2000年6月30日までに提出しなければならない。

岩間俊夫アドバイザー 地区の諸情報について①会長の任務について クラブの諸会合の議長を務める。例会を立案し、開会・閉会の時間を厳守するよう配慮する。定例理事会の議長を務める。任務に相応しい人をクラブの委員長に任命する。マイフレンドを購入し、参考にされるとよい。②幹事の役割について 幹事の任務は会員の記録を整理・保管し、会合における出席を記録し、クラブ理事会及び委員会の諸会合の通知を発送し、これらの会合の議事録を作成し、これを保管する。③地区事務所について ロータリー財団・米山・青少年交換の事務を専門に扱う。④万博について 万博委員会・万博例会場・寄付金等を検討中。

議事の後半には内藤ガバナーのフリートークと質疑応答の時間がもたれ活発なやりとりが行われた。最後に内藤ガバナーより講評をいただき閉会となった。

第2分科会 〈クラブ奉仕・会員増強・広報・拡大部会〉

リーダー	次期地区クラブ奉仕委員長 伴野 富三
アドバイザー	パストガバナー 福田 浩三
アシスタントリーダー	次期南尾張ガバナー補佐 石川 八郎
アシスタントリーダー	次期地区拡大委員長 加藤 正男
アシスタントリーダー	次期地区会員増強委員長 小川 辰男
アシスタントリーダー	次期地区広報委員長 長尾喜久男
アシスタントリーダー	次期ロータリーの友地区委員 羽田 育哉
担当次期地区副幹事	岡本 戡絃

伴野富三リーダー クラブメンバーの親睦を相互の利益だけでなく、奉仕活動も行うことにより継続することを確認したい。クラブ奉仕委員長はクラブ奉仕のあらゆる委員会の活動について監督・指導と援助を行うものです。

福田浩三アドバイザー 1929年の不況の中でもロータリーは憩いの場であり、他の奉仕団体が活動を停止している中でも活動してきた。奉仕のあとの爽やかな気持ちを広めるためにも会員は努力をされたい。

石川八郎アシスタントリーダー 新しい年度に向けて私が高校を卒業した時「ロータリー賞」と云うのがあり、私は貰えなかったが、それ以降「ロータリー」と云う名前は頭から離れなかった。この素晴らしいクラブを発展させましょう。

加藤正男アシスタントリーダー 新しいクラブが増えないのは、私達が増やそうとしないからです。商工会議所の婦人部会などのメンバーに働きかけて女性会員を増強するという手もあります。是非新しいクラブを作りましょう。

小川辰男アシスタントリーダー 会員増強は全会員が一丸となってやって始めて実現できるものです。平均退会者を上回る入会者目標を立てる。そしてメンバーをグループ分けして増強目標を振り分ける等の工夫をして下さい。

長尾喜久男アシスタントリーダー 広報はロータリーの活動を地域の人に理解して頂き、ロータリアンを増やすのを目的としています。地域や企業内の広報誌に取りあげて貰うのも一方法です。

羽田育哉アシスタントリーダー ロータリーの友は、まず会員が読まねばと思います。内容は素晴らしいので、投稿もお願いしたい。英語版もお買い求めください。



分科会報告

第3分科会
〈職業奉仕部会〉

リーダー	次期地区職業奉仕副委員長	鈴木 省三
アドバイザー	パストガバナー	神戸 政治
アシスタントリーダー	次期東尾張ガバナー補佐	加藤 俊夫
アシスタントリーダー	次期地区職業奉仕委員	田中 清隆
アシスタントリーダー	次期地区職業奉仕委員	来本 吉郎
担当次期地区副幹事		高野 基弘



神戸政治アドバイザー 職業奉仕とは何ぞや?ロータリーとライオンズの比較をすれば分かるのでは?アドバイザーゆえあえて発言しない。リーダーの下思い切り協議して欲しい。

鈴木省三リーダー 1987年RI会長がクラブとしての職業奉仕を提唱したが、殆どなされていないのが実態だろう。不良業者などによる社会不正・不道德行為に対し、ロータリーとして警鐘を鳴らす位のことはすべきでなかろうか。

加藤俊夫アシスタントリーダー クラブでの人を造ることが崩れて来ている。バブル紳士の多くにロータリアンが見られたことは至極残念。江戸時代の商家の家訓、精神的倫理観の重要さ。近江商人の「売り手よし、買い手よし、世間よし」。ロータリアンとは車のハンドルの遊びと森パストガバナーは言われたが、ハンドルそのものこそロータリーで、遊びがその他奉仕ではなかろうか。

田中清隆アシスタントリーダー 今回四つのテストについて改めて考え直して見た。1932年シカゴのハーバードテラーはアルミ工場倒産、再建時に四つのテストを考え出した。日本の四つのテストは昭和29年ロータリー復帰時、訳文を募集して決めたものだが、原文のニュアンスとはかなり違う様思う。原文をよく読むと良い。

来本吉郎アシスタントリーダー 各クラブ委員長にアドバイスをしたい。6月中旬にロータリー文庫で自分の気に入った本を求め、10月の職業奉仕月間に卓話したら良い。職業奉仕委員長の立場を大いに活用して欲しい。継続プロジェクトに取り組むのも良い。

第4分科会
〈社会奉仕・環境保全・RCC部会〉

リーダー	次期地区社会奉仕委員長	花井 文雄
アドバイザー	パストガバナー	高沢 隆
アシスタントリーダー	次期西尾張ガバナー補佐	丹羽 那一
アシスタントリーダー	次期地区環境保全委員長	鈴木 孝則
アシスタントリーダー	次期地区R.C.C.委員長	川井 健司
担当次期地区副幹事		中村美智雄

高沢隆アドバイザー

地区協議会の目的と意義 地区協議会は各ロータリークラブの年間の計画を立てるのに一番大事な大会であり、RI会長(予定者)及びガバナー(ノミニ)の方針を取り入れた年度計画を立てるためのものである。

丹羽那一アシスタントリーダー RI会長方針とガバナー方針ガバナー(ノミニ)の方針については弱者への思いやり等を含めた地域活動の見直し、精神的な豊かさを求められる様新世代に指針を、地球の未来のために環境保全に貢献を。1998年初めて会員数の純減を経験したが、これを繰り返さないためにクラブの拡大及び増強に努めて欲しい。

花井文雄リーダー 社会奉仕について ロータリーの奉仕は“I serve”に始まり“We serve”、“Let us serve”に広がって来たと思う。又、地区社会奉仕委員会の任務は社会奉仕活動を主体的に実施することではなく、地区内の各クラブの活動に対する情報交換、助言、連絡調査が任務と思う。

川井健司アシスタントリーダー RCについて ロータリー村落共同隊(RVC)として発足し、後にロータリー地域共同隊(Rotary Community Corps)が出来たものでRCが提唱し、メンバーはRC以外の人によって結成され地域で発生する問題(環境、登校拒否、いじめ、薬物乱用等)を解決する組織である。

鈴木孝則アシスタントリーダー 環境保全について 地区内の全てのクラブにおいて環境保全問題に熱心に取り組んでおられるが、今年もそれを発展継続される事を願います。“環境問題に対して、もっと意識しよう!!もっと行動しよう!!”を次年度は委員会のスローガンとして推進する。



分科会報告

第5分科会

〈国際奉仕・青少年交換・世界社会奉仕部会〉

リーダー	次期地区国際奉仕委員長	木本精之助
アドバイザー	パストガバナー	盛田 和昭
アシスタントリーダー	次期西三河ガバナー補佐	横井 晃鈴
アシスタントリーダー	次期地区青少年交換委員長	神田 憲
アシスタントリーダー	次期地区世界社会奉仕委員長	岡田 邦弘
アシスタントリーダー	次期地区国際奉仕副委員長	守野 暢洋
担当次期地区副幹事		三ツ松芳隆

第6分科会

〈新世代・インターアクト・ローターアクト・ライラ部会〉

リーダー	次期地区新世代委員長	坂本 康信
アドバイザー	パストガバナー	蜂谷 弘道
アシスタントリーダー	次期西名古屋ガバナー補佐	岡部 快圓
アシスタントリーダー	次期地区インターアクト委員長	荻本 鐵夫
アシスタントリーダー	次期地区ローターアクト委員長	青木 公貞
アシスタントリーダー	次期地区ライラ委員長	中山 信夫
アシスタントリーダー	次期地区新世代副委員長	鶴田 欣也
担当次期地区副幹事		神谷 龍司

木本精之助リーダー 世界に目を向けるロータリアンは①愛国主義にとらわれず、自分が国際理解と、親善と平和を推進するという業務を共に負っているものとみな

す。②国家的、人種的優越感によって行動しないようにする。③他国民と協調する共通の基盤を求め、これを育成する。④思想、言論、集会の自由、迫害と侵略からの解放で享受できるように、個人の自由を守る法律と秩序を擁護する。

神田憲アシスタントリーダー まず青少年交換委員の5会員を紹介、その後、地区76RCの中、既に55RCがこの会に何らかの形で関わりがある旨の報告があった。又、1999年～2000年度の青少年交換学生・派遣募集についての説明と、大谷和雄副委員長より重ねて交換学生についての補足説明があった。

岡田邦弘アシスタントリーダー W.C.S活動並びに報告があった。①1998～1999年度地区世界社会奉仕委員会の活動資金の収入は、地区W.C.S資金(地区本会計予算)620万円 各RC W.S.C資金(地区委員会一任)640万円 各RC義援金1,712万円、各RC独自活動資金390万円の合計3,362万円であり、寄付金明細は次の通りです。支出は大別して1. タイに愛知奨学金基金及びプロジェクトへ寄付540万円。②フィリピンに同じく400万円。災害援助義援金として、パプアニューギニア600万円、バングラデシュ577万円、中央アフリカ535万円、香港245万円、インド59万円、ブラジル15万円、及びRC独自活動資金389万円の合計3,360万円であります。



分科会プログラムにより、各リーダーがそれぞれの担当テーマに沿って大変有意義かつ積極的な活動への取り組みのスピーチをして頂きました。青少年活動委員会が新世代委員会と名称変更した初年度として、インターアクト委員会・ローターアクト委員会・ライラ委員会、そして新世代委員会の四つが力を合わせ、主体的に生きる努力によって、新たな世界を切り開いて行く真のリーダーを育成する道を模索する2時間であったと思われます。

委員会の年間活動スケジュールについての報告も行われました。



分科会報告

第7分科会

〈ロータリー財団・財団奨学・研究グループ
交換・財団学友会・ポリオプラス〉

リーダー	次期地区ロータリー財団委員長	矢島 茂
アドバイザー	パストガバナー	石川 和昌
アシスタントリーダー	次期東名古屋ガバナー補佐	坂本 精志
アシスタントリーダー	次期地区財団学友会委員長	栗津 良一
アシスタントリーダー	次期地区研究グループ委員長	山田 達
アシスタントリーダー	次期地区ポリオプラス委員長	古川善次郎
担当次期地区副幹事		前田 孝司

第8分科会

〈米山記念奨学部会〉

リーダー	次期地区米山奨学委員長	藤本 博之
アドバイザー	パストガバナー	田中 徹
アドバイザー	パストガバナー	加納 泉
アシスタントリーダー	次期東三河ガバナー補佐	石黒 坦史
アシスタントリーダー	次期地区米山学友会委員長	小野 文憲
アシスタントリーダー	次期地区米山奨学副委員長	来川 鋼治
担当次期地区副幹事		加藤 英二



セッション ①ロータリー財団の使命②シェアシステム③財団への寄付④財団の財務についての説明を聞いた後、先ず地区ロータリー財団について教育的プログラムは財団奨学生の受入れ及び派遣と、かなりの実績がありますが、人道的プログラム又は文化交流的プログラムに地区及び地区ロータリークラブはもっと企画すべきであるとの意見が出ました。財団への寄付について1997～1998年度の日本の寄付金は1,629万米ドルで、全寄付額の24%を占めている。石川和昌パストガバナーは日本経済の現状からしても、これ以上の増額を求めるのは難しく無理のない協力をしていくべきとの意見を述べられました。

財団奨学生派遣に関して、書類の不備が多い上、決定した派遣留学生が辞退する場合も多いので、この点においてスポンサー地区顧問ロータリアンは、もっとよく内容を把握しておくべきと述べられた。

ポリオプラス及びGSEについては、既に知られている通りです。最後に総括質疑について ①WFの使途内容を詳細に公表すべきである。②寄付金をドル建てのみで払うのは理解できない。③寄付金の免除が30万以上の大口寄付のみ適用されるのはおかしい。等の意見が出ました。

加納泉アドバイザー

①本奨学は日本独自かつ日本最大の奨学制度である。②今やR.I.も認め高く評価している③日本への留学生、特に中国、台湾、韓国の学生に支給されている（最近は前記3カ国以外の学生の比率も増加している）。

田中徹アドバイザー 米山奨学の現状①ロータリー財団の派遣と米山奨学の受入れは、車の両輪である。②米山奨学の三大特長は、1.指導教官－留学生に対しキチンとした指導体制が確立している。2.世話クラブとカウンセラー制度一心の通じあう制度である。3.学部課程（YU）奨学生、大学院修士課程（YM）奨学生、クラブ米山（CY）奨学生についての説明。

来川鋼治アシスタントリーダー ①第2760地区の地区別寄付額は全国第4位ですが、個人平均額ではトップの約半分の第15位です。②カウンセラーの役割 世話クラブは米山奨学生の心の支えです。米山奨学事業の成否は、世話クラブとカウンセラーの動向に懸かっているので責任重大であります、よろしく。

小野文憲アシスタントリーダー 米山学友会①米山奨学生であった留学生が、奨学金受給期間を終了し、なお研究、修学及び就職等で在日している場合、地域ごとに在日米山奨学生学友会に加入し、ロータリーの地区やクラブとの連携を保つための組織です。

藤本博之リーダー 米山奨学①地区事務所の積極的な利用のPR。②寄付金は中部地区の経済力を考えると尚一層のご協力を心からお願いしたい。

石黒坦史アシスタントリーダー 講評 熱心なる分科会に対し、リーダー及び参加者に対し、心から感謝するとともに、米山奨学の今後の発展のためにも会員の寄付を心からお願いいたします。



分科会報告

第9分科会 〈新会員・一般会員部会〉

リーダー	次期地区研修リーダー	宮地 信尚
アドバイザー	パストガバナー	奥谷 博俊
アシスタントリーダー	次期西三河中ガバナー補佐	太田賢太郎
アシスタントリーダー	次期地区クラブ奉仕副委員長	伴 辰三
アシスタントリーダー	次期地区社会福祉副委員長	石川 顕次
アシスタントリーダー	次期地区新世代副委員長	石田 喜運
担当次期地区副幹事		井田 稔



宮地信尚リーダー 先ずは新会員向けに、ロータリーの生い立ちのこと、ポールハリスのことなどから現在に至るまでの発展の経過並びに現在の問題点及び今後の発展への足固めのため、来期2000年を期して、更なる精進が望まれていることなど解説をされた。

伴辰三アシスタントリーダー クラブ奉仕について発言された。

石川顕次リーダー 社会奉仕について一般の社会奉仕の他に世界社会奉仕についても言及された。

太田賢太郎アシスタントリーダー 環境保全の問題を次年度は特に大きく取り組んでいくこと並びにその重要性を解説された。

石田喜運アシスタントリーダー 本年度までは青少年委員会として活動がなされて来たが、次年度よりは新世代委員会として当地区では大きく取り上げて行く方針である事を話された。さらに次世代を担う青少年問題の重要性を現在までの取り組みの実績に言及しながら、今後ともさらなる積み上げを粘り強く続けて行く事が大切と発言された。

奥谷博俊アドバイザー 7月より新しい1999～2000年度が始まります。輝かしい2000年をふみ台に更なる発展が期待される。

委員会からのお知らせ

インターアクトクラブ二大行事 に向け総力を挙げて準備中

地区インターアクト委員長 荻本鐵夫

ご案内の通り、新年度に入るとインターアクトクラブの二つの大切な行事、即ち「第10回インターアクトクラブ地区協議会」と「第12回インターアクトクラブ海外研修派遣」が殆ど同時に実施されます。

第10回のインターアクトクラブ地区協議会は、ホストクラブの委嘱を受けられました光ヶ丘女子高等学校インターアクトクラブ並びに岡崎東ロータリークラブの皆さんに総力を挙げて準備を進めて頂き、開催日をお待ちになりました。

地区協議会には450名のインターアクトクラブ会員と150名のロータリアンの登録をご期待申し上げております。

インターアクトクラブ地区協はロータリークラブの地区大会に相当する大切な会であります。

第10回協議会では、次の6つの分科会に別れて活動致します。

第1分科会(第2の人生を歩み始めて)

第2分科会(阪神大震災“負けないぞう”)

第3分科会(インドの友とふれあいを)

第4分科会(手話でコミュニケーションを)

第5分科会(気づくことが出発点NGO設立の歩み)

第6分科会(高齢者の方と分かち合う心を)

第12回インターアクトクラブ海外研修派遣は、今回もオーストラリア シドニーにおいて8泊10日で実施致します。若い高校生の皆様に一生心に残る「夢と感動」を与えるプログラムであり、人との触れ合い文化との触れ合いが深く心に刻まれる研修であります。

参加するインターアクトクラブ会員は14インターアクトクラブから37名の男女の生徒さんであります。指導者は次の皆様であります。

団 体	桜花学園高校インターアクトクラブ顧問	河合 保昌
副 団 長	岡崎学園高校インターアクトクラブ顧問	白井 裕子
アドバイザー	地区インターアクト委員長 一宮北RC	荻本 鐵夫
アドバイザー	地区インターアクト副委員長 名古屋RC	岩瀬 康彦
オブザーバー	ビデオ担当 一宮中央RC	加藤 辰己

地区協議会の『海外研修壮行会』の席上、野村ガバナーより激励のお言葉を頂き7月23日(金)名古屋空港を出発し8月1日(日)に名古屋空港に帰国致します。現地での活動は後日ご報告申し上げます。

南尾張分区

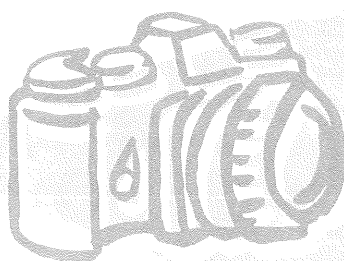
●半田ロータリークラブ

次年度に向け 歴代分区代理会議開かれる

5月27日、半田市内浜潮にて9名の歴代分区代理がご出席。加藤分区代理のご挨拶、石川次期ガバナー補佐の抱負、松本パストガバナーの卓話につづき、最年長鈴木パスト分区代理の音頭により、乾杯。思い出話に花が咲き、和気藹々の中、お開きとなりました。

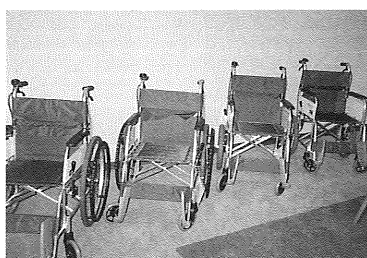
第11回半田RCロータリー大賞 授賞式挙行政

6月3日例会で、乙川中学校生徒会と成岩スポーツクラブが栄えある大賞を受賞。



第2760地区分区グラフ

フォーカス
2760



創立25周年記念として 空港へ車椅子を寄贈

名古屋空港ロータリークラブでは創立25周年記念の一環として、先頃オープンした名古屋空港新国際線ターミナルビルへ車椅子を4台寄贈しました。5月12日に新旧会長、幹事他担当委員長と共に、運営主体の名古屋空港ビルディング(株)に寄贈に行き、同社福谷専務より新ターミナルビルの身障者への心くばりとバリアフリー思想をお聞きすると共に、年々増える車椅子利用の旅行者の需要に対応できると、寄贈を大変喜んでいただきました。



●名古屋空港ロータリークラブ

東尾張分区

東名古屋分区

●名東ロータリークラブ

「子供達の健全育成」を図る

- 幼児教育講習会(8月、於サン笠寺ホール)
- PTA研修会(1月、於ガーデンパレス)

少子化・価値観の多様化から近年、過保護あるいは無責任な放任をされ、子供達を取りまく環境は目まぐるしく変化してきている。

そこで、幼稚園教諭を対象とした講習会、母親を対象とした講演会を企画し、子供達の健全育成を図った。両会とも400名を越す参加があり、大変に盛況、かつ好評であった。



8月 幼児教育夏期講習会にて熱心に講義をきく幼稚園教諭の方たち



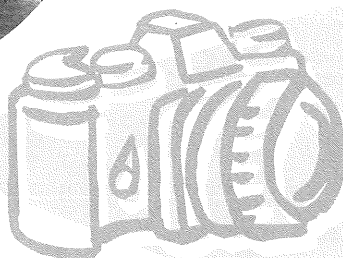
1月 PTA研修会にて講師の伊藤 廉先生



1月 PTA研修会に出席した会員達。



8月 幼児教育夏期講習会にて田嶋会長の挨拶



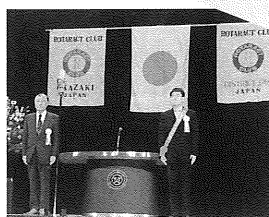
第2760地区分区グラフ

フォーカス
2760

1998～1999年度 国際ロータリー第2760地区ロータリー第9回地区年次大会



(写真中) '98～'99RID2760ガバナー 内藤明人様



(写真右) '98～'99ロータリーアクト地区代表 石田雄三君
(写真左) 社会福祉法人 米山寮 寮長 金原 勲様



大樹寺貴主(岡崎市)
中村ドワイト良観様
(記念講演者)



(写真右) '99～2000地区ロータリーアクト委員長 青木公貞様
(写真中) '98～'99地区ロータリーアクト委員長 石川 敬様
(写真左) '98～'99ロータリーアクト地区代表 石田雄三君

1998～1999年度 国際ロータリー第2760地区ロータリーアクト 第9回地区年次大会

5月8日(土)・9日(日)、岡崎RAC(提唱岡崎RC、岡崎南RC、岡崎東RC、岡崎城南RC)のホストによって、ロータリーアクト地区年次大会が、'98～'99RID2760地区内藤ガバナーを始め、地区役員、委員、地区内ロータリアン、ロータリーアクト総勢450名の参加で、岡崎市民会館(前夜祭は名鉄岡崎ホテル)にて開催されました。

記念講演では、徳川家康公ゆかりの寺、大樹寺(岡崎市)の御前様、中村ドワイト良観氏の心が清々しくなるような卓話をお聞きし、今大会のテーマ「breakthrough ACT」(日頃のアクト活動を進めていく上での困難、新

しいことに挑戦していくときの葛藤、障害を、break|打開策、最良策を見つける|through|乗り越える|する)にふさわしい講演内容であったと思います。

そして又、'98～'99ロータリーアクト地区事業(社会福祉法人米山寮への寄付などの物心両面のサポート等々)を発表したり、ロータリーアクト同士の友情を再確認する場面があったりして、大変有意義で感動的な大会でした。

大会のホストをした岡崎RACのメンバーのみなさん、お疲れ様でした。君たちだけではなく、我々ロータリアンまでに感動を与えてくれてどうもありがとう。

●岡崎ロータリークラブ

西三河中分区



西尾張 分区

西尾張分区、 次期会長、 幹事懇談会

尾張中央ロータリークラブ

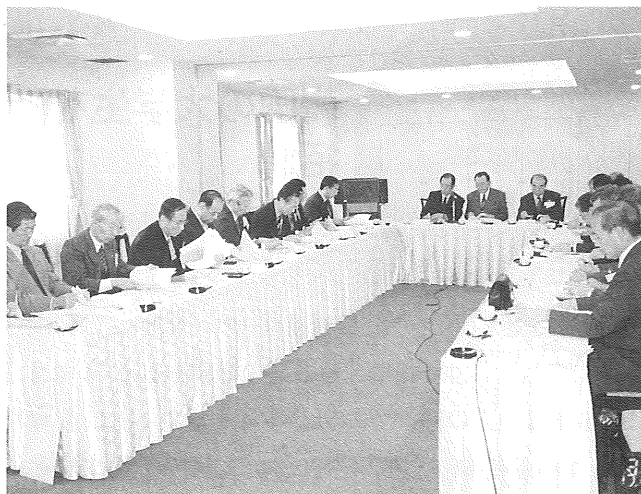
一、日 時 1999年4月3日 17時～20時

二、場 所 小牧ロイヤルホテル

三、参加者 分区内9クラブ次期会長、幹事18名

高野地区副幹事、ホストの尾張中央RCより丹羽
ガバナー補佐、安藤補佐幹事、大野補佐副幹事、
岩田IM実行委員長、辻分区合同ゴルフ大会実行
委員長及び大野事務局員の7名出席、計25名。

丹羽ガバナー補佐及び高野地区副幹事の挨拶に始まっ
て、来るべき年度のRI会長のターゲット、野村地区ガバナーの
方針を踏まえ、分区内各クラブの運営、奉仕活動について意
見交換、公式訪問に関する事項、IMの進め方、合同ゴルフ大



会等についての説明、各クラブの年次計画と目標作成の為
のミーティングを1時間余行いました。引き続き懇親会場へ移
動、相互の親睦、健勝を願い乍ら盃を傾け、和気あいの
うちに散会しました。今後共私ども西尾張分区としては、出来
る限りこうした機会を多く持ち、連帯を強めて奉仕の理想を追
求して行き度いと思います。

西名古屋 分区

“温故知新”をテーマに さらなる発展を

名古屋中ロータリークラブ

名古屋中ロータリークラブは、1969年10月6日に24名の
チャーターメンバーによって創立され、爾来、歳月を重ねて本
年30周年を迎えることになりました。

創立30周年を発展的に迎えた本クラブは、来るべき21世紀
の大変化する時代の中に未知なる革新と躍進のチャンスが存
在するものと考え、人と自然を愛し、地域社会に密着した活動
をとおして楽しく、夢のあるロータリー活動ができるよう努力して
参りたいと思います。

名古屋ロータリークラブは堀江四郎初代会長の創立精神
「品格のある明るく楽しいロータリークラブ作り」を継承し、先
輩諸兄が築き上げられて来た輝かしい歴史と伝統を学び、21



世紀に秘められた可
能性を模索して、いか
にクラブを活性化して

いくべきか、“温故知新”をテーマに夢のある将来を展望した
いと考えております。

20世紀の日本は今日まで物質的な豊かさのみを求めて
参りましたが、世紀末にはバブル経済が崩壊し、かつて経験
したことのない時代を向かえておりますが、今こそ真の人間の
豊かさを求め、あらためて日本の歴史と文化の素晴らしさ
を見つめ直し、明日へのロータリーの活力を生かしてその活
性化をめざしたいと思っております。



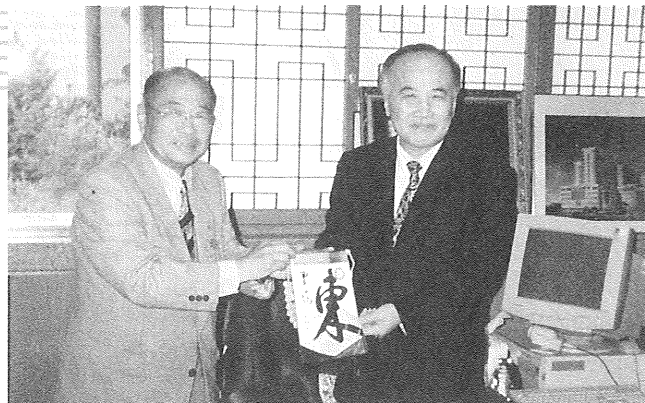
東三河 分区

韓国の大学生を 招聘

豊橋東ロータリークラブ

新年度を迎えるに当たり、豊橋東ロータリークラブでは韓国・中央大学の学生を招聘する事業の準備を進めています。この事業は創立の精神である「青少年を対象として、教育・スポーツ活動を通して国際交流をはかり、世界平和に貢献する。」ということの具体的な活動の一環で、創立以来既に3度実行され本年で4度目となりました。

去る5月18日に中野博三地区国際奉仕委員(豊橋南RC)にご同行願ひ、1998～1999年度会長、1999～2000年度会長および幹事・国際奉仕委員長・新世代委員長が韓国ソウルの中央大学校(日本の総合大学に相当)を訪問し、学生2名の招聘をお願いして参りました。当日は中央大学校の李総長



をはじめ同窓会長、日語日文学科主任の任教授にお会いでき、招請状を手渡しました。韓国における対日感情の変化や日韓の経済状況など話が弾み、また李総長はこの事業の意義を高く評価されました。この事業に関連して、韓国から毎年7人も地元豊橋の大学に留学をするようになりました。今後もその流れは深まることでしょう。

7月18日、同行教授と共に学生2名が名古屋空港に到着し、24日迄1週間滞在します。学生はその間、会員宅でホームステイをして毎日豊橋を中心に日本の文化、産業、観光等を経験してもらいます。また、例会にも出席して日本語でスピーチしてもらう予定です。

以上のように日韓親善に努めております。

西三河 分区

WCS・ニームトリー プロジェクト報告 (紹介)

刈谷ロータリークラブ

ドリアンシティ(ダバオ)RCは、フィリピン・ミンダナオ島ダバオ市(人口200万余、戦前は多くの日本人が在住)に所在する1992年設立の若いクラブであります。本プロジェクトは当クラブが地域社会に貢献したいと最初に取り組んだプロジェクトで、ニームトリーは、蚊等害虫を寄せ付けない特性を活かし、自然環境の保全緑化促進、害虫の駆除等住民の生活環境の美化、改善を目的として植樹を推進する事業であり、ダバオ市当局並びに、住民も全面的に協力をして進められた事業であります。この事業は刈谷RC独自のWCS活動として5ヶ年計画で、毎年20万円の協力金が授与され実行されてきました。

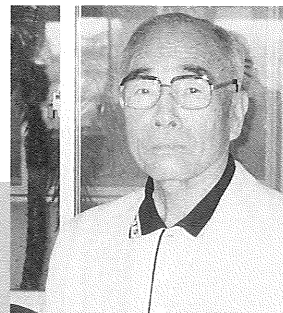


本年、最終年度であり、現地調査を兼ね5名のメンバーが現地に訪問し事業、進捗の確認とドリアンシティRCとの友好を深めることが出来ました。このプロジェクトが同クラブはもとより市当局、住民の方々より大変喜ばれ感謝されており、植樹を通じてのWCS事業が意義深く、大成功に終えたことをご紹介します。

にんげん WATCHING

知立ロータリークラブ シニア

深谷 藤一 会員



若い頃の思い出談話

戦争中、横浜の警察病院に務め、灯下管制の下で外科手術をして職業奉仕に燃えた事。また戦後、医療薬品の不足の中、ペニシリンよりも逸早く、抗菌剤を開発、発表し、尊い命を少しでも救うに、お役に立てた事。

各界の名士と共に、栃木県にすばらしいゴルフ場を作ろうと、発起人として参加し、現在名門として育ってくれた事。

昭和40年、東京より帰りたくなかったが、故郷知立にもどり、富士病院を、翌年に住宅公団の要請により団地診療所を、また平成元年に特別養護老人ホームと、大変忙しかったけれど、地域奉仕とご老人のために少しでも役立てばと…。今思えば、青春時代か？

ロータリークラブに対し

世に人に善行をつくし、その間に自らもお役に立つ人間となる、そういう人々の集まりがRCである。元々はゼントルマンの集まりであったが、最近は少し変わってきているのかな？一番大切な事は、入会者は率直に入会できた事を感謝する気持ちを持つ事である。特に最近の若い会員は、一言でいえば玉石混交。少し長い目でみれば、いずれにかダイヤモンドに育ってくれと信じているが…。

インタビューー

加藤 量平

寄稿する事を最後まで拒否された先輩、苦労した取材であったが、いつ迄も枯れる事を知らない青年と感じた次第です。



プロフィール

大正3年6月10日生、85才、

昭和14年慶応大学医学部卒業、公立葛生病院長を始め、各病院長を歴任後、現在、医療法人深谷会富士病院、知立団地中央診療所各理事長、社会福祉法人富士会ヴィラトピア知立理事長 となる。他に公職として唐沢カントリークラブ理事、名古屋三田会理事etc.

ロータリークラブ歴

1960年栃木県葛生RC入会。

1966年刈谷RC入会。

刈谷RC第21代(1974~'75)会長。

1991年知立RC誕生と共に移籍し、現在に至る。

RC歴約40年。

趣味

ゴルフ(和合クラブHcp8→20)、ボートセーリング、写真撮影、酒2合・ビール1本(毎日)…健康の秘訣。

1999年7月盛夏

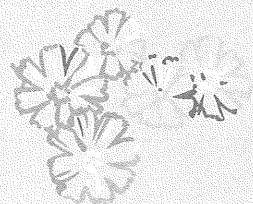
暑中お見舞い
申し上げます

RI第2760地区
ガバナー
地区幹事
スタッフ一同

インターアクトクラブの学校が名称変更となりました。

(旧) 名古屋短期大学付属高校

(新) 桜花学園高等学校



各地区関係事務所のご案内

ガバナー事務所

〒448-0843
刈谷市新栄町3-26 刈谷商工会議所内
TEL:0566-29-3551 FAX:0566-29-3552

地区事務所

〒450-0002
名古屋市中村区名駅3-12-5
竹生ビル別館2階
TEL:052-541-2760 FAX:052-541-0500

地区大会実行委員会事務所

〒484-0081
犬山市大字犬山字西畑22-5
TEL:0568-61-5219 FAX:0568-61-5523



新年度分
ご予約受付中

『ロータリーの友』英語版 “THE ROTARY-NO-TOMO”

日本のロータリーを海外に知らせる
最も良い贈り物

創刊 1975年5月
刊行回数 年2回 11月(冬号)と4月(春号)
発行部数 冬号:9,000部 春号10,000部
今年度 No.51(1999年11月1日)・No.52(2000年4月1日)を発行の予定
定価 1部500円 1口1,000円(冬号・春号各1部
年間で計2部)(消費税別・国内送料込)
注文方法 7月1日付で全クラブ幹事様あてにご案内状
と注文書(返信用官製はがき)を郵送いたし
ましたのでご利用ください。

掲載記事内容

『ロータリーの友』誌より海外向けにふさわしい記事を転載。
日本の文化・社会・経済および一般事情の紹介記事などを掲載。
日本の地区別ロータリー地図と全クラブの例会日一覧表を折り込み。

活用方法

- 1 グリーティングカードの付いた冬号は、クリスマスカードの代わりに、海外のロータリアン、友人、知人、取引先に贈呈。
- 2 海外の姉妹クラブ、友好クラブなどに定期的に寄贈。
- 3 国際大会参加、その他の海外旅行の際、おみやげとして携行。
- 4 海外でのメイクアップにおみやげとして訪問先クラブに、また貴クラブの例会で海外からのビジターに贈呈。
- 5 ロータリー財団国際親善奨学生、青少年交換学生、GSEのメンバー(派遣・受入とも)ご本人をはじめ、カウンセラー、関係クラブ・地区の方々に贈呈。
- 6 地域や大学・高校の図書館に寄贈。
- 7 RI発行の公式名簿(Official Directory)を利用し海外のロータリークラブ会長に寄贈(一例:RI加盟承認が同じ年のクラブなど)。

ROTARY 文庫通信

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7階
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
開館:午前10時～午後5時 休館:土・日・祝祭日

第141号

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々一方向ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく[ロータリー文庫]は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、29年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万8千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のために、ぜひご活用くださるようお待ちしております。

利用方法

文庫資料は自由に閲覧出来ますが、電話や書信によるお問合わせも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

文庫資料をご希望の場合は

発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。

絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスを致します。

重複資料はご希望により無料進呈致します。

貸出し

一般資料(印刷物)の貸出しは出来ませんが、視聴覚資料(ビデオ・スライド・フィルム)は予約制(申込用紙有)で貸出し致します。

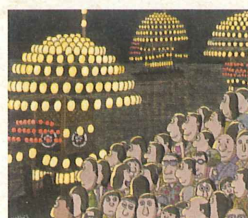
登録資料の紹介

「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申し込みください。

「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。

ご寄贈

個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。



表紙に寄せて

400年以上の伝統をもつ津島神社の礼祭。土曜日の宵まつりでは、365個の提灯を飾った巻きわら船5隻が津島雅楽を奏でながら天王川を進みます。今年の開催日は、7月24日(土)～25日(日)。